

令和6年度 第3回

病院経営戦略会議報告

日 時 令和6年5月7日（火） 12時57分～13時11分
場 所 3階講堂会議室1・2
出席者 小山院長、朝見副院長、池田副院長、金子副院長、原看護部長、
西田保健衛生局理事、堀越病院経営部長、坂口病院総務課長、
三上病院施設管理課長、富田病院財務課長、増田医事課長、
小林情報管理室長、田中患者支援センター副所長
事務局 病院総務課 天本

内 容

◎坂口病院総務課長

【報告事項】

（看護師採用試験の実施について）

- ・5月11日（土）に看護師と助産師の採用試験を実施する。
- ・採用予定の人数は、看護師が47名程度、助産師が1名程度。

◎三上病院施設管理課長

【報告事項】

（平面駐車場全面供用開始について）

- ・東側のバスロータリーについて、5月13日から供用を開始できる前提で、掲示をしたり、1階のエントランスで映像を流すことにより、周知している。
- ・平面駐車場の入口と出口も、同じタイミングで本来の場所に変更する。

【協議事項】

（発熱外来用仮設プレハブについて）

- ・昨年度より幾度かお伝えしていたが、改めての確認で「協議案件」として提示した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で仮設プレハブを設置し、コロナの検査で活用していたが、建築基準法上により当該プレハブの設置が認められ、特

例措置により延長して使うことができていたものの、今年度の9月末をもって当該プレハブを使っの対応はできなくなる。

- ・ 特例措置での設置延長であったため、撤去後には代替えの建物の設置もできないことから、今後9月末の撤去後にどのような運用としていくか、例えば、本館内の1Gの発熱外来の運用を変更し使用するなど、具体的に検討していく必要がある。

→検討事項として考える。(小山院長)

◎富田病院財務課長

【報告事項】

(さいたま市立病院中期経営計画改定等支援業務の契約について)

- ・ 本年度の中期経営計画支援業務について入札を実施した結果、本年度も(株)麻生と契約した。
- ・ 履行期間は4月17日から来年の3月31日まで。業務内容は、第3次さいたま市立病院中期経営計画の目標達成に向けた支援、会議等への支援、相談業務等となる。
- ・ コンサルタントへの相談は病院財務課が窓口となるので、相談、情報収集等の依頼がある場合は病院財務課へご連絡いただきたい。

◎増田医事課長

【協議事項】

(五種混合ワクチン接種料の新設について)

- ・ 昨年度まで定期予防接種として行っていた四種混合ワクチンとHibワクチンが五種混合ワクチンとなり、今年度から接種が開始される。
- ・ 市内の方については、とりまとめである医師会に請求し、市外・県内の方については、それぞれの自治体に請求を行うが、県外の方が接種を受けられた場合にその費用を請求するため、管理規則に料金の設定を行いたいと考えている。
- ・ 接種料については、四種混合ワクチンが5,000円となっており、手技自体は同じ行為となることから、同額の5,000円+税を考えている。
- ・ この金額については、本庁の財政課と協議を行い「特段の意見なし」との回答を得ている。

→これは手技料であって、薬代はまた別にかかると思うが、患者さんはいくら支

払うのか。(池田副院長)

→ワクチン代が 15,000 円弱なので、20,000 円くらいになる。(医事課長)

◎小林情報管理室長

【報告事項】

(次期システムのコンサルティング業務について)

- ・次期システムのコンサルティング業務について入札を行った結果、昨年度と同じ(株)病院システムが落札した。

◎西田保健衛生局理事

- ・インフルエンザに関して、4月までは流行が続いていたが、4月22日から28日の週に1医療機関当たり0.33まで落ちたので、だいぶ遅くなったが、これをもって今シーズンの流行は終わりと言える状態となった。
- ・Covid-19については、1医療機関当たり1.88であり、かなり低い水準となっている。
- ・過去5年間のデータと比べて今年多いのがRSウイルス感染症で、ここ5年間で一番多い状態となっている。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も、5年間で一番高いレベルとなっている。このあたりの流行状況は今後も注視していきたい。